

事業所名

こどもデイサービス菜の花つぼみ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念	一人ひとりが生活や将来の就労において、自身の強みを生かし社会参加ができるように取り組みます。								
支援方針	こどもたち一人ひとりの特性に応じ、自立した生活及び社会参加をチームで支援します。 一人ひとりの状況に応じた支援を行い、意思決定を守り健全な育成を図ります。								
営業時間	9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・定期的な検温等の体調確認。毎日の来所時に検温。服薬等自己管理の支援。 ・定期的かつ定時に通所。生活リズムの安定。 ・基本的な生活スキルの習得。							
	運動・感覚	・ラジオ体操、ストレッチやマット運動。 ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動(リトミック)。 ・その他児童に合わせた運動の提案。							
	認知・行動	・日付、曜日把握の支援。常時確認が出来るようにカレンダー等の環境設定を行う。 ・タイムスケジュールを設定し、スケジュールに沿った活動の提案。視覚的な把握ができるようにタイムスケジュール表を掲示する。 ・活動を通して自己選択、自己決定を行う支援。個別活動の提案。							
	言語 コミュニケーション	・帰りの会(挨拶を含む)で1日の感想、気づき等の発表。司会を担当する児童を決め、児童主体で行う。 ・集団活動イベント終了時にフィードバックを行う機会を設定し、意見交換の場を提供する。 ・場に応じた適切なコミュニケーションの支援。							
	人間関係 社会性	・適切なコミュニケーションの支援。 ・遊びや運動を通して小集団～集団活動の提供。 ・イベントを通して公共施設の利用。							
家族支援	・家庭外での児童の様子を伝え、児童の強みや課題を共有する。 ・利用児童の家族(兄弟等)に関して相談があった場合の対応。				移行支援	・進学や就労等の将来的な移行に向けた準備及び支援の提供。 ・学校や移行先、並行利用先との連携及び支援内容の共有。			
地域支援・地域連携	・各関係機関との連携（相談支援事業所、学校、スクールソーシャルワーカー、訪問看護等） ・地域の施設（体育館、市民センター等）の利用を通して地域での居場所づくりを行う。				職員の質の向上	・内部研修の実施。 ・外部研修への参加（研修内容の共有）。 ・定期的な自己評価、面談等を行い、課題の把握や改善に取り組む。			
主な行事等	・事業所内や地域の市民センターを利用した調理活動の開催。 ・毎月、末日を除く最終水曜日に演奏会を開催（クラシックやポピュラー音楽、アニメやゲームの主題歌等の演奏や鑑賞）。 ・夏祭りやクリスマス会等、季節ごとのイベント行事の開催。								